



かしまホットニュース



鹿島市の最近のホットな話題ベスト5をご紹介します。

1. 中木庭ダムで小水力発電がスタート！

今年4月から佐賀県の県営ダムでは最大規模の中木庭ダム(鹿島市能古見)で、民間事業者による放流水を活用した小水力発電が始まった。九州電力グループの3社による連合体が発電所を設置・運営。九州で既設ダムに民間事業者が参画するのは初めて。年間発生発電量は約1,250MWhで、一般家庭約350世帯分の消費電力に相当する。

2. 肥前鹿島干潟がラムサール条約湿地に登録！

昨年6月に南米ウルグアイの都市プンタ・デル・エステで「ラムサール条約第12回締結国会「肥前鹿島干潟」(北鹿島新築地先)が、国際的に重要な湿地であると認められ、ラムサール条約湿地に登録された。議」が行われ、出席した副市長へ登録認定証が授与された。秋から春にかけてズグロカモメやチュウシャクシギなどのシギ・チドリ類が約40種類程度飛来し、他にも絶滅が危惧されているクロツラヘラサギやツクシガモといった貴重な鳥類が飛来している。

3. 箱根駅伝の常連チームが鹿島で強化合宿！

5年前から箱根駅伝の常連チームである明治大学、順天堂大学、大東文化大学、東洋大学、東京農業大学などの選手が、2月から3月にかけて鹿島市で強化合宿を行った。蟻尾山公園の陸上競技場やクロスカントリーコース、中木庭ダム周辺などを拠点として練習を行った。併せて、子供たちを対象に各大学による陸上教室や交流会も開催された。小中高生を対象とした陸上教室では、子供たちは大学生の速さと練習の厳しさを肌で感じることができ、いい経験になり、大きな影響を受けていた。来年には青山学院大学が合宿する予定。

4. 囲碁の名人「碁聖寛蓮」 囲碁の殿堂入りを果たす！

今年7月19日、囲碁の名人「寛蓮」が囲碁の殿堂入りを果たした。橘良利(寛蓮)は平安時代の人で、古今和歌集に選ばれる歌人であるとともに、当代随一の囲碁の名人であったことから「碁聖」と呼ばれていた。肥前の国藤津郡の人という記録があり、行成にある「橘園」付近で生まれたと言われている。これが「碁聖寛蓮」生誕の地鹿島の謂れである。天皇の勅命で「碁式」という囲碁のルールや心構えなどを記した書物を作り、913年5月3日に醍醐天皇に献上したと伝えられている。昨年まで3年連続でノミネートされたものの選ばれず今回ついに殿堂入りを果たした。

5. 場外舟券売場「ボートレースチケットショップ鹿島」オープン！

昨年11月10日、鹿島市大字森に場外舟券売場「ボートレースチケットショップ鹿島」がオープンした。場外舟券売り場として全国で67番目、ボートレース大村では12番目の施設となる。大村・唐津が開催する全レースをはじめ、全国で展開されるSG・GIやナイターレースなど舟券を年間最大360日、1日最大6場・72レースを発売している。警察の協力で治安の心配は払拭されている。